

平成 24 年 度

(平成 24 年 4 月 1 日～平成 25 年 3 月 31 日)

事業報告書

公益財団法人 松尾学術振興財団

平成 24 年度 事業 報告 書

1. 事業の状況

(1)自然科学の学術研究助成（公益目的事業1）

4月3日に当財団の助成に関係すると思われる全国の159の大学・研究機関等に推薦依頼を行った。7月31日の締め切りまでに43件の応募があり、下記の6件が採択された。

第25回（平成24年度）松尾学術研究助成

推薦者	研究題目	代表研究者	助成金額 (万円)
理化学研究所 外部資金部長	不安定粒子寿命の直接測定のための単一アト秒レーザーシステムの開発	理化学研究所 研究員 金井 恒人	350
中央大学 理工学研究所長	冷却原子を用いた高次近接場効果の解明	中央大学 理工学部 准教授 東条 賢	400
福井大学大学院 工学研究科長	レーザー圧縮バンチ化リドベルグ原子ビーム開発と基礎物理への応用	福井大学大学院 工学研究科 准教授 小川 泉	320
高知工科大学学長	光渦を利用した弱測定による偏光状態の直接観測	高知工科大学 システム工学群 助教 小林 弘和	320
広島大学大学院 理学研究科長	真空量子光学—暗黒エネルギー源候補の地上探索へ向けて—	広島大学大学院 理学研究科 助教 本間 謙輔	270
国立情報学研究所長	NP 完全問題を解く注入同期レーザーネットワークを用いたコヒーレントコンピューターの実現	国立情報学研究所 助教 宇都宮 聖子	340
合計 6件			2000

<研究助成募集要項抜粋>

1. 助成対象研究分野

原子物理学及び量子エレクトロニクス・量子光学の基礎に関する実験的・理論的研究

及びこれらを手段として用いた物理学の基礎に関する研究

新しい創造的な発展の可能性を持つ萌芽的な研究を特に歓迎します。

- a)新レーザー光学
- b)量子エレクトロニクスと新計測技術
- c)物質波・物質波光学
- d)電磁場中の原子過程
- e)特異な原子・分子構造とダイナミクス

2. 助成対象者

大学等の研究機関において自然科学分野の研究に従事している若手研究者
推薦者 財団の定める全国の大学、研究機関、関係学会等

3. 助成金額と助成件数

助成金額 総額 2000 万円

件数 5～6 件(1 件当り 200～500 万円)

助成金の使途 (1) 設備備品費 (2) 消耗品費 (3) 旅費 (4) 謝金
(5) その他

4. 募集締切 7月31日

5. 審査・決定

自然科学選考委員会の選考を経て、理事会において決定する。(9月中旬予定)

自然科学選考委員会

(委員長) 藪崎 努 市川 行和 加藤 義章
北野 正雄 小林 信夫 桜井 捷海 山崎 泰規

(2) 褒賞 (公益目的事業2)

松尾財団宅間宏記念学術賞 (宅間宏前理事長の逝去によりその功績を記念して松尾学術賞から名称を変更) 学術研究助成とセットで全国に関連する大学、研究機関に推薦依頼を行った結果、4件の推薦をいただいた。昨年からの持ち越し1件と合わせて、5件の審査を行った結果、下記の授賞が決定した。

第16回(平成24年度)松尾財団宅間宏記念学術賞 賞金200万円

推薦者	研究題目	受賞者
スタンフォード大学教授 国立情報学研究所教授 山本 喜久	光格子にトラップされた 冷却原子を用いた量子多 体系のシミュレーション	京都大学大学院 理学研究科 教授 高橋 義朗

<学術賞推薦要項抜粋>

1. 対象となる研究分野

原子物理学と量子物理学・量子エレクトロニクスの研究

2. 授賞対象者

原子物理学と量子物理学・量子エレクトロニクスの研究で特に業績が顕著と認めら研究者で現に研究の第一線で活躍している者を優先(若手研究者を優先)

3. 推薦者

財団の定める全国の大学、研究機関、関係学会等

4. 賞金と件数

原則として1件 賞金 200 万円

5. 募集締切

7月31日

6. 審査・決定

審査は前記学術研究助成の選考委員会が当り、理事会において決定する。

◎ **研究助成金及び松尾財団宅間宏記念学術賞の贈呈式は10月29日如水会館にて行った。**

(3) 調査研究事業 (公益目的事業3)

平成24年度は、平成23年度の研究報告書「総括的人間保障と科学と政策の新しい連関の省察」に関する研究の深耕とアウトプットの事業のうち、「総括的人間の安全保障」のテーマを展開し、以下の成果を得た。

研究者：鈴木宣弘（東京大学教授）、田村正勝（早稲田大学教授）、赤尾信敏（元外務省国連局長）、尹文九（東京福祉大学教授）、岩浅昌幸（筑波大学准教授）、近藤健彦（明星大学教授、元大蔵省副財務官）、木下順子（コーネル大学客員研究員）、仁木博文（医師、衆議院議員）、柳平彬（グループダイナミズム研究所代表）、宅間克（公益財団法人松尾学術振興財団常務理事）
緒方貞子（前 JICA 理事長、元国連高等弁務官）

アウトプット：『人間の安全保障の諸政策』（単行本 法律文化社）

序章：「人間の安全保障と日本」（宅間克）

第1章：「人間の安全保障と新しい政策公準」（岩浅昌幸）

第2章：「寡占化社会が人間に与える影響」（柳平彬）

第3章：「アジア通貨単位 ACU 構想」（近藤健彦）

第4章：「地球環境問題と人間の安全保障」（赤尾信敏）

第5章：「食料自給と農業政策」（鈴木宣弘、木下順子）

第6章：「高齢者の安全保障」（尹文九）

第7章：「医療・社会保障改革への提言」（仁木博文）

第8章：「教育改革への基本的提言」（柳平彬）

第9章：「日本のポテンシャルとイニシアティブ」（宅間克）

第 10 章：「新技術に基づくヒューメイン・シティーの提言」（岩浅昌幸）

第 11 章：「人間の安全保障」（田村正勝）

帯 言：「人間の安全保障解の決策の議論」（緒方貞子）

（４）松尾音楽助成（公益目的事業４）

平成 24 年度は、4 月 19 日音楽大学 19 校及び管弦楽団 13 団体に推薦依頼を行なった。応募(推薦) 5 件を受けオーディション及び選考委員会での討議を経て次の 1 件が採択となった。

○第 23 回(平成 24 年度)松尾音楽助成

推 薦 者	団 体 名	助成期間	助成金額
Univasitat der Kunste Berlin Prof.Hartmut Rohde	Quartet Berlin Tokyo 守屋 剛志(Vn) ヴァイオリニスト Moti Pavlov(Vn) ヴァイオリニスト 杉田 恵理(Va) ヴィオリスト 松本瑠衣子(Vc) チェリスト	1 年	400 万円

音楽助成推薦要項抜粋

1. 助成対象者 本格的に弦楽四重奏に取り組んでいる若手の弦楽四重奏団のメンバーでメンバーの平均年齢が 35 歳までとする。〈メンバーの所属に関する制限はない。同一機関、同一大学等でもよい。〉
2. 採択件数 1～2 件
3. 助成金額 上限は 400 万円
4. 助成期間 1 年
5. 助成金の使途 研修・研鑽のためなら特に制限を設けていないが、助成決定の際に財団と協議の上定める。
6. 応募〈推薦〉 音楽界有識者の推薦による。
7. 推薦締切日 平成 24 年 12 月 21 日
8. 選考方法
 - 1)第 1 次審査 書類選考
 - 2)第 2 次審査 オーディション 日時 平成 25 年 2 月 9 日
場所 OAG ドイツ東洋文化研究協会ホール第 1 次合格者に対するオーディションで、課題曲は次のとおり。
A. すべてのハイドンの弦楽四重奏曲、すべてのモーツァルトの弦楽四重奏曲及び

- ベートーヴェンの弦楽四重奏曲作品18の1～6の中から1曲
B. ベートーヴェンの弦楽四重奏曲作品59の1～3及び作品74,
シューベルトの弦楽四重奏曲イ短調D.804,ニ短調D.810の中から1曲
C. 20世紀に書かれた弦楽四重奏曲の中から1曲

以上の3曲を演奏していただきます。

注) 前年度にもこのオーディションに参加したグループは、A,B,Cの中で前年と違う曲を選択してください。

選考は次の選考委員会で行う。

〈委員長〉 岡山 潔 大谷 康子 川崎 和憲
澤 和樹 原田幸一郎 山崎 伸子

9. 助成の決定 選考委員会の選考を経て、財団理事会において決定する。
10. 研修成果発表 後日マツオコンサートにおいて成果発表演奏会を行う。

○マツオコンサートの開催

音楽助成の成果発表の場としてのマツオコンサートは昨年度助成の下記2団体により次のとおり開催した。

第20回マツオコンサート

開催日 平成25年3月3日 14時～

会場 津田ホール

出演者と曲目

Quartett Hymnus

小林 朋子(Vn)音楽教室非常勤講師

山本 翔平(Vn)東京都交響楽団

松井 直之(Va)読売日本交響楽団

高木 慶太(Vc)読売日本交響楽団

曲目

モーツァルト:弦楽四重奏曲 第15番ニ短調 KV421

ラベル : 弦楽四重奏曲へ長調

クァルテット ATOM

平光 真彌(Vn)愛知室内オーケストラ

新谷 歌(Vn)音楽教室ヴァイオリン講師

吉内 紫(Va)愛知県立芸大学院生

山際奈津香(Vc)愛知室内オーケストラ

曲目

ベートーヴェン 弦楽四重奏曲第12番ホ長調 作品127

聴衆 430名

2.会議等に関する事項

(1)理事会

平成 24 年 5 月 31 日	1)平成 23 年度事業報告書承認の件 2)平成 23 年度決算報告書承認の件 3)評議員会開催の件	全会一致で承認・可決 全会一致で承認・可決 全会一致で承認・可決
9 月 8 日	(決議の省略により開催) 1)第 16 回松尾財団宅間宏記念学術賞 決定の件 2)第 25 回松尾学術研究助成決定の件 3)「研究助成基金」一部取崩しの件	提案内容に全員賛成 の回答 提案内容に対し全員 賛成の回答 提案内容に対し全員 賛成の回答
平成 25 年 3 月 18 日	1)第 23 回(平成 24 年度)松尾音楽助成 決定の件 2)平成 25 年度事業計画承認の件 3)平成 25 年度収支予算書承認の件 4)選考委員委嘱の件	全会一致で承認・可決 全会一致で承認・可決 全会一致で承認・可決 全会一致で承認・可決

(2)評議員会

開催年月日	議 事 事 項	会 議 の 結 果
平成 24 年 6 月 13 日	1)平成 23 年度事業報告書承認の件 2)平成 23 年度決算報告書承認の件	全会一致で承認・可決 全会一致で承認・可決

(3)選考委員会

開催年月日	議 事 事 項	会 議 の 結 果
平成 24 年 8 月 23 日	平成 24 年度松尾学術賞審査・採択候補選出の件 平成 24 年度松尾学術研究助成審査・採択候補選 出の件	全員一致で決定 全員一致で決定

3.処務事項

発生年月日	項 目	備 考
平成 24 年 4 月 3 日	第 16 回松尾学術賞・第 25 回松尾学術研究助成候補者推薦方依頼（大学他）	
4 月 19 日	第 23 回音楽助成候補推薦方依頼（音楽大学他）	
5 月 31 日	理事会 平成 23 年度事業報告書・収支決算書承認の件他	
6 月 13 日	評議員会 平成 23 年度事業報告書・収支決算書承認の件	
6 月 24 日	平成 22 年度事業報告書・収支決算書 届出 公益認定等委員会	
7 月 31 日	松尾学術賞・学術研究助成推薦応募締切り	
8 月 20 日	年報「第 24 回事業報告書 2011」刊行	
8 月 23 日	松尾学術賞・研究助成の選考委員会	
9 月 6 日	決議の省略による理事会 第 16 回松尾財団宅間宏記念学術賞・第 25 回松尾学術研究助成決定	
10 月 29 日	第 16 回松尾財団宅間宏記念学術賞 第 25 回松尾学術研究助金 贈呈式開催 如水会館	
12 月 1 日	マツオコンサート入場希望者受付開始	
平成 25 年 2 月 9 日	第 23 回松尾音楽助成オーディション・選考委員会	
3 月 18 日	理事会 第 23 回松尾音楽助成決定の件 平成 25 年度事業計画書承認の件 平成 25 年度収支予算書承認の件	
3 月 27 日	平成 25 年度事業計画書 平成 25 年度収支予算書 届出 公益認定等委員会	